

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月10日		記入者		連絡先 2813
平成18年度部名	環境事業部		課名	清掃総務課	課長名 成瀬 博
平成19年度部名	資源循環部		課名	廃棄物政策課	課長名 成瀬 博
事務事業名	ごみ収集車両購入費				
予算上の事務事業名	ごみ収集車両購入費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21220		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				
施策名	第2施策 廃棄物の適正処理の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市庁用自動車管理規則 相模原市庁用自動車に係る環境保全行動指針				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	施設運営		5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
ごみ収集車両を計画的に更新し適正な収集体制を維持するとともに、LPガス自動車等の環境に配慮した低公害車に切り替えることにより、環境負荷の軽減、収集作業環境の向上を図る。			ごみ収集車両		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
自動車購入費合計 50,316,000 円 LPG塵芥車(2t車) 6,289,500円×8台					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	102,197	51,902	51,443	86,855	93,575
一般財源	25,598	13,095	50,543	23,555	93,575
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	76,599	38,807	900	63,300	0
人件費の合計	493	493	493	493	493
事業コスト合計	102,690	52,395	51,936	87,348	94,068
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	ごみ収集車両購入事業			対象名称 と単位	ごみ収集車 台
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	102,690	52,395	51,936	87,348	94,068
対 象 数	14	8	8	13	14
単位あたり経費(円)	7,335,000	6,549,375	6,492,000	6,719,077	6,719,143
前 年 度 比		0.89	0.99	1.03	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	車両更新率	指標式と指標の説明	更新台数/更新対象台数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	14.0	8.0	8.0		
目標	14.0	8.0	8.0	13.0	14.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	八都府市指定公害車転換率	指標式と指標の説明	八都府市指定公害車車両台数/保有台数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	57.0	65.0	76.0		
目標	66.0	66.0	81.0	81.0	81.0
目標達成度(%)	86.4	98.5	93.8		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		ごみ収集は、日常生活において全ての市民が利用している行政サービスの一つであることから、利便性の向上を図りつつ、その運営についての合理化に努める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策 収集・運搬業務のより効率的な運営を図るため、収集コースの見直しや民間委託化を推進する。			1 5 課題として認識されたこと ごみ排出量の減少に伴う収集コースの見直しや車両更新基準の見直し。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		低公害車への転換や適正管理を推進しつつ、今後も継続的に見直しを行っていく。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			